

血液検査用総蛋白キット
血液検査用アルブミンキット
血液検査用アルカリ性フォスファターゼキット
血液検査用グルコースキット
血液検査用総ビリルビンキット
血液検査用無機リンキット
血液検査用コレステロールキット
血液検査用ガンマ-グルタミルトランスペプチダーゼキット
血液検査用アラニンアミノトランスフェラーゼキット
血液検査用カルシウムキット
血液検査用クレアチニンキット
血液検査用尿素窒素キット

*改訂 2022年10月(第2版)
作成 2020年10月(第1版)

富士ドライケムスライド スクリーニング15

897N204782A

【全般的な注意】

ア. 本製品は、動物用体外診断用でありそれ以外の目的で使用しないで下さい。
イ. 診断は他の関連する検査結果や臨床症状等に基づいて総合的に判断して下さい。
ウ. 添付文書以外の使用方法については保証を致しません。
エ. 使用する機器の添付文書及び取扱説明書をよく読んでから使用して下さい。
オ. 構成品である富士ドライケムスライド(以下、「スライド」と記載)の添付文書についても必ず参照して使用して下さい。

構成品の販売名	一般的名称	略称
富士ドライケムスライド v-TP-P	血液検査用総蛋白キット	TP
富士ドライケムスライド v-ALB-P	血液検査用アルブミンキット	ALB
富士ドライケムスライド v-ALP-P	血液検査用アルカリ性フォスファターゼキット	ALP
富士ドライケムスライド v-GLU-P	血液検査用グルコースキット	GLU
富士ドライケムスライド v-TBIL-P	血液検査用総ビリルビンキット	TBIL
富士ドライケムスライド v-IP-P	血液検査用無機リンキット	IP
富士ドライケムスライド v-TCHO-P	血液検査用コレステロールキット	TCHO
富士ドライケムスライド v-GGT-P	血液検査用ガンマ-グルタミルトランスペプチダーゼキット	GGT
富士ドライケムスライド v-GPT/ALT-P	血液検査用アラニンアミノトランスフェラーゼキット	GPT/ALT
富士ドライケムスライド v-Ca-P	血液検査用カルシウムキット	Ca
富士ドライケムスライド v-CRE-P	血液検査用クレアチニンキット	CRE
富士ドライケムスライド v-BUN-P	血液検査用尿素窒素キット	BUN

【形状・構造等(キットの構成)】

本品の構造は、下図の通りになります。

富士ドライケムスライド v-BUN-P
富士ドライケムスライド v-CRE-P
富士ドライケムスライド v-Ca-P
富士ドライケムスライド v-GPT/ALT-P
富士ドライケムスライド v-GGT-P
富士ドライケムスライド v-TCHO-P
富士ドライケムスライド v-IP-P
富士ドライケムスライド v-TBIL-P
富士ドライケムスライド v-GLU-P
富士ドライケムスライド v-ALP-P
富士ドライケムスライド v-ALB-P
富士ドライケムスライド v-TP-P

【反応系関する成分】

各スライドの添付文書を参照して下さい。

【使用目的】

イヌ及びネコの血清、血漿中の総蛋白濃度、アルブミン濃度、アルカリフォスファターゼ活性、グルコース濃度、総ビリルビン濃度、無機リン濃度、総コレステロール濃度、γ-グルタミルトランスペプチダーゼ活性、グルタミク・ピルピク・トランスアミナーゼ活性、カルシウム濃度、クレアチニン濃度、尿素窒素濃度の測定

【測定原理】

各スライドの添付文書を参照して下さい。

【操作上の注意】

【検体】

- 採血後は速やかに測定して下さい。
- 抗凝固剤はヘパリンが使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり50単位以下にしてください。EDTA塩、フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないで下さい。
- フィブリン等の沈澱物のない血清又は血漿を使用して下さい。
- 溶血した血清又は血漿は、使用しないで下さい。
- 希釈しないで下さい。
- 富士ドライケムスライドv-TBIL-P：ビリルビンは、光により分解します。検体を光に当てないで下さい。
- 富士ドライケムスライドv-TCHO-P：TGが超高値の検体は、負の影響があります。
- 富士ドライケムスライドv-CRE-P：採血後、室温で長時間放置するとアンモニア量が増加し、正の誤差を与えることがあります。採血後は速やかに測定して下さい。また、管理血清等でアンモニアの高い試料は正の誤差を与えますので、ご注意下さい。

【妨害物質等】

富士ドライケムスライド v-TP-P

各物質について、以下の濃度範囲内では著しい影響は見られませんでした。

アスコルビン酸 ~10mg/dL ビリルビン ~20mg/dL
ヘモグロビン ~100mg/dL

富士ドライケムスライド v-ALB-P

1. 各物質について、以下の濃度範囲内では著しい影響は見られませんでした。

アスコルビン酸 ~10mg/dL ビリルビン ~20mg/dL
ヘモグロビン ~100mg/dL

2. 重炭酸は正誤差を与えます。炭酸水素ナトリウム等の重炭酸塩を投与された患者検体は測定できません。

3. ALBが基準範囲以下で低A/G比の検体は、高値化する場合があります。

富士ドライケムスライド v-ALP-P

1. 各物質について、以下の濃度範囲内では著しい影響は見られませんでした。

アスコルビン酸 ~10mg/dL ビリルビン ~10mg/dL
総タンパク 4.0~9.5g/dL

2. テオフィリンは負の誤差を与える場合があります。

富士ドライケムスライド v-GLU-P

各物質について、以下の濃度範囲内では著しい影響は見られませんでした。

アスコルビン酸 ~10mg/dL ビリルビン ~20mg/dL
ヘモグロビン ~500mg/dL 総タンパク 5.0~9.0g/dL

富士ドライケムスライド v-TBIL-P

1. 各物質について、以下の濃度範囲内では著しい影響は見られませんでした。

アスコルビン酸 ~10mg/dL ヘモグロビン ~50mg/dL
総タンパク 5.0~9.0g/dL

2. 腎不全患者の検体は、内因性物質の影響により高値を示す場合があります。

3. 抗生物質セフトラムは正の誤差を与える場合があります。

富士ドライケムスライド v-IP-P

1. 各物質について、以下の濃度範囲内では著しい影響は見られませんでした。

アスコルビン酸 ~10mg/dL ヘモグロビン ~300mg/dL
ビリルビン ~20mg/dL 総タンパク 4.0~9.5g/dL
尿酸 ~20mg/dL

2. 強心剤である塩酸ドブタミン及び塩酸ドパミンは、負の影響を与える場合があります。

富士ドライケムスライド v-TCHO-P

1. 各物質について、以下の濃度範囲内では著しい影響は見られませんでした。

アスコルビン酸 ~10mg/dL ヘモグロビン ~300mg/dL
ビリルビン ~10mg/dL 総タンパク 4.5~8.5g/dL
尿酸 2~9mg/dL

2. 強心剤である塩酸ドブタミン及び塩酸ドパミンは負の影響を与える場合があります。

富士ドライケムスライド v-GGT-P

各物質について、以下の濃度範囲内では著しい影響は見られませんでした。

アスコルビン酸 ~10mg/dL ビリルビン ~10mg/dL
総タンパク 4.0~9.5g/dL

富士ドライケムスライド v-GPT/ALT-P

1. 各物質について、以下の濃度範囲内では著しい影響は見られませんでした。

アスコルビン酸 ~10mg/dL ビリルビン ~20mg/dL
総タンパク 4.0~9.5g/dL ビリルビン酸 ~2mg/dL

2. 強心剤である塩酸ドブタミン及び塩酸ドパミンは負の影響を与える場合があります。

富士ドライケムスライド v-Ca-P

各物質について、以下の濃度範囲内では著しい影響は見られませんでした。

アスコルビン酸 ~10mg/dL ビリルビン ~20mg/dL
ヘモグロビン ~300mg/dL 総タンパク 4.0~9.5g/dL
マグネシウム ~2.5mg/dL

富士ドライケムスライド v-CRE-P

1. 各物質について、以下の濃度範囲内では著しい影響は見られませんでした。

アスコルビン酸 ~10mg/dL 総タンパク 5.0~9.5g/dL
ビリルビン ~20mg/dL アンモニア(N量) ~600µg/dL
ヘモグロビン ~300mg/dL

2. 農薬中毒によりイソプロピルアミンが血中に存在した場合、正の誤差を生じる場合があります。

3. 血中にジメチルアミン等の低分子アミン類が存在した場合、正の誤差を生じることがあります。

富士ドライケムスライド v-BUN-P

各物質について、以下の濃度範囲内では著しい影響は見られませんでした。

アスコルビン酸 ~10mg/dL ビリルビン ~20mg/dL
ヘモグロビン ~300mg/dL 総タンパク 5.0~9.0g/dL

【その他】

本品は、富士ドライケム生化学分析装置専用試薬です。

【用法・用量(操作方法)】

【スライド準備】

使用時に必要数だけ冷蔵庫より取り出し、室温に戻してからパッケージを開封して下さい。開封後は、速やかに使用して下さい。

【測定に必要な器具・器材・試薬等】

試薬：富士ドライケムスライド スクリーニング15

使用できる測定機：富士ドライケム生化学分析装置 ただし、富士ドライケム5500V/富士ドライケム3000V/富士ドライケム3500V/富士ドライケム7000Vを除く

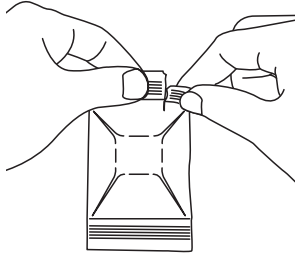
その他の器材：富士ドライケムQCカード(付属品)

富士ドライケムクリーンチップ又は

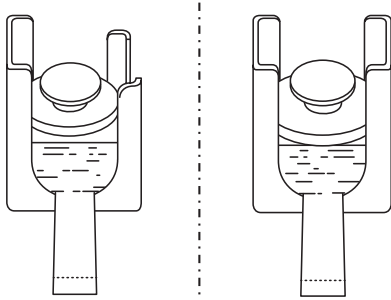
富士ドライケムオートチップ

【測定操作法】

1. 「V字型」の切り込みからゆっくりとパッケージを開封します。



2. パッケージから取り出したスライドを結束テープの端がスライドカートリッジの外側に出るように入れます。
※測定機によりカートリッジ形状が異なりますので、下図を参照下さい。
3. スライドの上にスライドウェイトを置いて下さい。
4. 結束テープの端を持ち、スライドカートリッジからテープを引っ張り取り除きます。



5. 付属品の富士ドライケムQCカードを専用測定機のカードリーダー部に読み込ませ、次いでQCカードに対応したスライドを専用測定機にセットし、測定を開始します。

【測定結果の判定法】

基準範囲は検査対象の母集団によって異なりますので、各検査室で基準範囲を設定することをおすすめします。参考正常値(基準範囲)は各スライドの添付文書を参照下さい。

【性能】

各スライドの添付文書を参照下さい。

【使用上又は取扱い上の注意】

【取扱い上の注意】

検体は感染の恐れのあるものとして取り扱って下さい。検査にあたっては感染の危険を避けるため使い捨て手袋を着用して下さい。

【使用上の注意】

1. 使用期限を過ぎたスライドは使用しないで下さい。
2. 本製品は光に対し非常に敏感であるため、開封したスライドは直ちにカートリッジにセットし、測定機付属のスライドウェイトを置いて速やかにご使用下さい。
3. スライド表面及び裏面の中央部には、直接手を触れないで下さい。
4. 測定ごとに、一枚のスライドを使用します。血液等を一度点着したスライドは、再使用できません。
5. QCカードに磁石を近づけないで下さい。
6. アルミ包装に破損がある場合は使用しないで下さい。
7. Ca測定値が「 $>16\text{mg/dL}$ 」と表示された場合、点着されていないか、異常高値検体の可能性があります。v-Ca-Pスライドに点着されているかどうかを確認して下さい。

【廃棄上の注意】

本製品を使用済み後、廃棄する場合は感染性産業廃棄物に該当しますので、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い、焼却、熔融、滅菌、消毒等の処理をして下さい。

また、委託して行う場合は、特別管理産業廃棄物処分量の免許を持った業者に、特別管理産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて処理依頼をして下さい。

【貯蔵方法・有効期間】

- (1) 貯蔵方法：遮光した気密容器(未開封の個別包装)で、冷蔵庫(2~8℃)に保存して下さい。
- (2) スライド有効期間：製造後1年6カ月
使用期限は外箱に記載してあります。

【包装単位】

12枚/袋×6袋(個別包装)

【問い合わせ先】

* 富士フィルム メディカル株式会社
TEL. 03-6419-8035 FAX. 03-5469-4190
〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号

【製造販売元】

製造販売元
富士フィルム株式会社
〒258-8538 神奈川県足柄上郡開成町宮台798番地
TEL. 0120-771669

発売元
富士フィルム メディカル株式会社
〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号